

平成 29 年度 建設産業魅力発信 (担い手確保・育成) 取組概要

機関・団体等の名称

公益社団法人土木学会中国支部

事業等の名称	第 10 回身近な土木を描いてみよう! 図画コンクール
<p>1. 実施時期・2. 実施場所 参加費無料</p> <p>募集期間：平成 29 年 7 月～9 月 15 日</p> <p>表彰式：平成 29 年 11 月 19 日 広島市まちづくり交流プラザ 平成 29 年 12 月 17 日 イオンモール鳥取北</p> <p>作品展示：平成 29 年 11 月 13 日～22 日 広島市まちづくり交流プラザ 平成 29 年 12 月 2 日～12 月 17 日 イオンモール鳥取北 平成 29 年 12 月 20 日～平成 30 年 1 月 19 日 土木学会 (東京四谷) 平成 30 年 1 月 23 日～3 月 11 日 広島県立図書館 平成 30 年 3 月 14 日～3 月 26 日 中国電力(株)柳井発電所</p> <p>3. 対象者 (参加者数)</p> <p>応募総数：1219 枚 内訳 小学校：94 校 827 枚 中学校：18 校 392 枚</p> <p>4. 共催・単独等の状況</p> <p>主催：公益社団法人土木学会 後援：国土交通省中国地方整備局・広島県・広島市・ 広島県教育委員会・広島市教育委員会・福山市教育委員会・呉市教育委員会 東広島市教育委員会・山口県教育委員会・鳥取県教育委員会・鳥取市教育委員会 島根県教育委員会・松江市教育委員会・岡山県教育委員会・岡山市教育委員会</p> <p>5. 事業等の内容</p> <p>小学生、中学生に、身近な土木を描いた図画を募集し、審査会を実施して優秀作品を選定し、公共の場所により展示を行い、表彰式を実施します。優秀作品については次年のカレンダー印刷・配布を行い、土木の日の行事の PR も行う。</p> <p>6. 期待される効果 (実施結果：効果)</p> <p>写真と違って、図画を描いている時間は長く、その間は土木と対峙している。社会インフラの必要性や、こんな大きなものをどうやって作ったのだろうかなど、子供なりに思いめぐらせ、土木に親しみをもち、将来、街をデザインするような人になりたいというような希望を持ってほしいと考える。</p> <p>7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案</p> <p>8. その他</p> <p>優秀作品を掲載した 2018 年カレンダー配布</p>	

(別添様式1)

平成29年度 建設産業魅力発信(担い手確保・育成)取組概要

機関・団体等の名称

公益社団法人土木学会中国支部

事業等の名称	土木学会 夏休み親子見学会
1. 実施時期 平成29年7月22日(土)	参加費無料
2. 実施場所 錦川総合開発事業平瀬ダム建設現場(岩国市平瀬)	
3. 対象者(参加者数) 51名(こども27名大人24名)	
4. 共催・単独等の状況 《主催》公益社団法人土木学会中国支部 《共催》一般社団法人日本建設業連合会中国支部 《後援》山口県・岩国市教育委員会 《協力》清水建設・五洋建設・井森工業・ナルキ建設工事共同企業体	
5. 事業等の内容 工事概要の説明・ダム工事について・現場見学・集合写真撮影	
6. 期待される効果 普段は見ることのできない工事過程や先端技術を見学して土木技術の関心を高め、建設業の社会的使命やその活動の実態、さらには社会資本整備の必要性について考える。また、夏休みに親子で仕事現場を見学することにより、キャリア教育の一環としてもとらえる。人の暮らしを支える社会資本整備をする建設業の魅力を発見し、将来、土木技術者を目指すような夢を与える。	
7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案 参加者の募集についての広報	
8. その他 チラシ添付	

(別添様式 1)

平成 29 年度 建設産業魅力発信 (担い手確保・育成) 取組概要
機関・団体等の名称

公益社団法人土木学会中国支部

事業等の名称	土木学会 夏休み土木実験教室
1. 実施時期 平成 29 年 8 月 7 日 (月)	参加費無料
2. 実施場所 東広島市芸術文化ホールくらら 東広島市西条栄町 7 番 19 号	
3. 対象者 (参加者数) 小中学生 39 名	
4. 共催・単独等の状況 主 催：公益社団法人 土木学会中国支部 後 援：東広島市教育委員会 協 力：(一社)建設コンサルタンツ協会・広島県生コンクリート工業組合	
5. 事業等の内容 ①土木とは…土木工事は 4 つの「み」(みち・みず・みどり・みらい) ②コンクリートに関する説明と実験、作成 水中セメントとの比較実験や、ポルトセメントにチョーク粉を入れてカラーコンクリートを作成。そのほか、超速硬セメントを使ってコンクリートを作り、性状、特徴を理解した。夏休みの自由研究の提出にもなるようなモデルも提示した。 ③まとめ…コンクリートはいろいろな所に使われている身近な素材。探してみよう！	
6. 期待される効果 自然現象や土木施設を造る技術は「理科」の応用で、実際に作ったり、触ったり、観察することによって土木について興味がわくのではないかと思う。コンクリートを作ることにより、土木に親しみがわく。	
7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案	
8. その他 チラシ添付	

(別添様式1)

平成29年度 建設産業魅力発信(担い手確保・育成)取組概要
機関・団体等の名称

公益社団法人土木学会中国支部

事業等の名称	土木ツアー
1. 実施時期 平成29年7月29日(土)	参加費無料
2. 見学場所 鳥取西道路:気高第2トンネル工事現場(鳥取県鳥取市気高)	
3. 対象者(参加者数) 58名(子ども:25名 大人:33名)	
4. 共催・単独等の状況 主 催:公益社団法人土木学会中国支部・鳥取県 後 援:鳥取県教育委員会・鳥取市教育委員会 協 力:国土交通省中国地方整備局鳥取河川国道事務所	
5. 事業等の内容 工事概要説明・トンネル施工方法説明・切羽見学・集合写真撮影	
6. 期待される効果 普段は見ることのできない工事過程や先端技術を見学して土木技術の関心を高め、建設業の社会的使命やその活動の実態、さらには社会資本整備の必要性について考える。また、夏休みに親子で仕事現場を見学することにより、キャリア教育の一環としてもとらえる。人の暮らしを支える社会資本整備をする建設業の魅力を発見し、将来、土木技術者を目指すような夢を与える。	
7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案	
8. その他 チラシ添付	

平成29年度 建設産業魅力発信（担い手確保・育成）取組概要

機関・団体等の名称

公益社団法人土木学会中国支部

事業等の名称	どぼくカフェ ～宇宙戦艦ヤマトの発進準備工事費が総額1207億3816万円！？～
1. 実施時期	平成29年7月29日（土）
2. 実施場所	イオンモール鳥取北店（鳥取県鳥取北町晩稲）
3. 参加者（参加者数）	約120名
4. 共催・単独等の状況	主催：公益社団法人土木学会中国支部・鳥取県 後援：鳥取県教育委員会 協力：イオンモール日吉津店
5. 事業等の内容	「どぼくカフェ」とは、街中のオープンな場所で、土木に関連つけたテーマで土木技術者からの発信ではなく、一般市民からの新しい切り口で土木を語りイベントです。今回は、漫画やアニメの中に描かれた空想巨大建物を、実際の土木の力で設計・施工したらどうなるか…？を検証してみる。そのほか、道路標識の展示・身近な土木を描いてみよう図画コンクールの優秀作品の展示。
6. 期待される効果	漫画などファンタジーの部分であるが、実施工程や積算表を見て、実際の施工について緻密な計画の上で工事がなされていることを知る。
7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案	
8. その他	チラシ添付

参加費無料

(別添様式1)

平成29年度 建設産業魅力発信(担い手確保・育成)取組概要

機関・団体等の名称

公益社団法人土木学会中国支部

事業等の名称	インフラツーリズム ～福山編～
1. 実施時期 平成29年12月3日(日)	参加費無料
2. 実施場所 山陽道福山SAスマートIC工事現場・別所砂留(福山市)	
3. 参加者(参加者数) 小学生5年生以上の親子 24名	
4. 共催・単独等の状況 主 催: 公益社団法人土木学会中国支部 後 援: 国土交通省中国地方整備局・広島県・福山市教育委員会 協 力: 西日本高速道路(株)・別所砂留を守る会	
5. 事業等の内容 山陽道・福山SA(下り線)のスマートIC工事現場と、江戸時代に築かれた砂防施設で、歴史的価値のある選奨土木遺産でもあり、ふくやま景観100選にも選ばれた別所砂留を見学した。	
6. 期待される効果 安全で豊かな生活を支えるインフラについて考えながら公共施設を見学するインフラツーリズム。小学生5年生以上の親子を対象に、現在建設中の現場や土木遺産、あるいは供用中の土木構造物をめぐり、普段は見ることのできない工事過程や先人達の技術を見学して土木に対する関心を高め、建設業の社会的使命やその活動の実態、さらには社会資本整備の必要性について考えた。	
7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案	
8. その他 チラシ添付	